



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

さまざまな業界と介護をつなぐ
キーパーソン

活躍の場が広がる 介護福祉経営士



2020

1.31

No.67

CONTENTS

さまざまな業界と介護をつなぐ
キーパーソン

活躍の場が広がる
介護福祉経営士

2

第4回「介護福祉の未来」
作文コンクール
入選作品掲載

5

●今月の「介護ビジョン」

6

新理事就任のお知らせ

7

イベント掲示板

8



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 諄
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
ニッテン神田ビル3階

さまざまな業界と介護をつなぐキーパーソン

活躍の場が広がる 介護福祉経営士

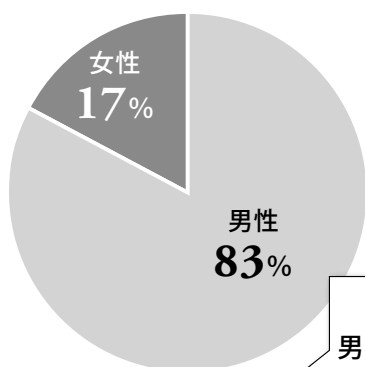


2013年に介護福祉経営士が誕生してから、まもなく7年。当初は介護施設の経営者や中堅スタッフが資格保持者の多くを占めていたが、現在ではさまざまな業界に介護福祉経営士が広まっている。本特集では一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会によるデータを元に、介護福祉経営士の活躍の状況をレポートする。

資格保持者のボリュームゾーンは ミドルマネージャー層

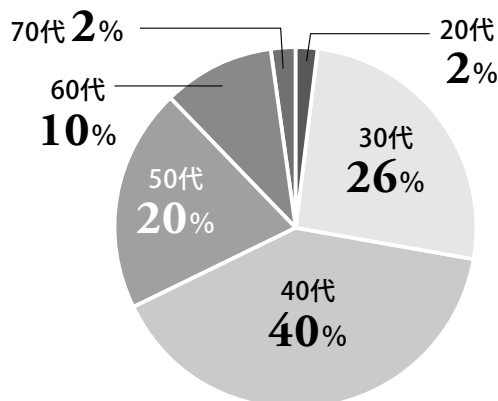
介護福祉経営士の現在の資格保持者は1,100名※。うち男性は916人(83%)、女性は184人(17%)となっている。年代別では40代が40%、次いで30代が26%と、30～40代の資格保持者が多い。

【男女別比較】



30代、40代の
男性の資格保持者が
多い傾向

【年代別比較】



30～40代と言えば現場を引っ張っていく立場にあるミドルマネージャー層が多く、その人たちが介護福祉経営士資格に有用性を感じているためだと推察できる。

一般的にミドルマネージャーに求められる役割は、人材の育成やマネジメントのほか、現場の活性化やスタッフのモチベーション管理であり、最終的には組織レベルで設定された目的に対する達成能力が求められる。

その点介護福祉経営士資格なら、人財管理・育成、情報活用、サービス向上のためのノウハウ、介護に関連する諸制度の知識、財務・資金調達の仕組みなどを体系的に学ぶことができるため、ミドルマネージャー層のニーズとうまくマッチしたのではないだろうか。

資格保持者の声

■法人本部

介護福祉経営士2級 30代 男性

業務で医療機関や介護事業所との連携、地域での広報などを担当しており、一般企業でいうところの営業に近い立場にあります。これまでの社会福祉法人の枠を越えた新しい企画を立案し、営業活動を展開するにあたり介護福祉経営士の知識が役立っています。

■認知症グループホーム

介護福祉経営士1級 30代 男性

社会福祉士、介護福祉士の資格を取得した後、次のステップとして介護福祉経営士の資格を取得しました。これまでの現場での経験に加えて経営の視点を取り入れたことで、介護市場をより立体的、包括的にとらえることができたように思います。

※2019年12月末現在の登録者数

■法人本部

介護福祉経営士2級 30代 男性

介護施設の事務職として入職しましたが、大幅な組織改編に伴いマネジメントに関わる立場になったことが介護福祉経営士を取得するきっかけでした。組織内のメンバーのニーズへのアプローチ方針が明確に打ち出せるようになったのが大きな収穫でした。

他業界からの参入が増加中

資格創設時は合格者の過半数が介護関係者であったが、その後他業界からの参入数が増え、2019年現在有資格者の53%が他業界で活躍している(その他含む)。

そのうち最も数が多いのが金融業で259名(23%)。介護施設に対する融資等を取り扱う部門の営業職が主な層となっている。また近年、意思表示の難しい顧客の資産を管理する信託商品や、認知機能の低下によって事故を起こした場合の保険商品などの商品開発が金融各社によって活発化していることも資格取得者増加の背景にあると考えられる。

資格保持者の声

■銀行

介護福祉経営士2級 40代 男性

営業を統括する部門への異動をきっかけに医療・介護部門を担当するようになりました。それまで医療・介護業界にかかわったことがなく、業界事情や専門用語すらわからない中で、同じく金融機関に勤める知り合いから紹介されたのが介護福祉経営士でした。得た知識を顧客とのコミュニケーションに活かすことで、話がかみ合ったという手ごたえを感じることができました。

■銀行

介護福祉経営士2級 30代 男性

同じ部署にいた介護福祉経営士が異動になったため、これまでと同じように営業の質を確保し続ける為にはこの資格が必要だと考え、自分が受験に挑戦する事にしました。営業時の話に深みが出せるようになり、お客様との信頼関係の構築に大きく役立ったと感じています。

次いで資格保持者が多いのが税理士、会計士、社会保険労務士などを中心とするコンサルティング業で177名(16%)。介護業界は通常の企業運営と異なり、制度への

依存度が高いうえ、会計処理の仕組みも独特であり、コンサルティングを行うにあたって専門的な知識が必要とされる。

そのため、介護福祉経営士の資格を活用できるシーンが多いことが資格保持者数の増加に繋がっていると考えられる。過去の資格合格者のコメントの中には「資格の取得により、点で理解していた介護の知識が線でつながった」といった意見もあり、コンサルティング業務の質の向上につながっているケースも多いようだ。

資格保持者の声

■社会保険労務士

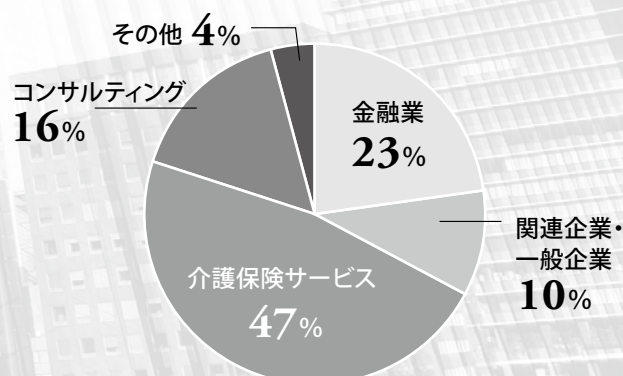
介護福祉経営士2級 30代 女性

中小企業の経営・労務のサポートを担当しています。担当の中には介護事業所なども含まれていますが、担当になった当初は共通言語の理解や人員基準などの知識不足を強く感じていました。介護福祉経営士の資格を取得したことで介護業界の動向に敏感になり、顧問先と業界を話題にした対話もできるようになりました。

また、注目したいのが、関連企業分野の中で約4分の1を占める情報システム開発・販売業である。現在、介護業界にICTの分野からアプローチをする企業が増えつつあり、近年資格保持者数が増加傾向にある。ケア情報の記録・管理・分析、ケアプラン作成、介護保険請求などを支援する介護ソフトや、見守りセンサー・介護ロボットなどの開発が活発化していることが資格保持者増加の背景として考えられる。

このように介護福祉経営士が他業界と介護業界をつなぐ橋渡し役として活躍する事例は今後も増加していく見通しだ。

【業種別比較】



業種別に見た資格保持者の分布

	【介護保険サービス】	515	【金融業】	259	【コンサルティング】	177	【関連企業・一般企業】	109	【その他】	40
内 訳	法人本部	174	銀行	147	税理士	47	情報システム開発・販売	28	行政	10
	医療機関(その他病院、医院)	56	信用金庫・信用組合	52	会計士	31	製薬	23	教育(学校)	9
	居宅介護支援	46	リース業・その他	60	社会保険労務士	23	高齢者住宅運営・建設	14	その他	21
	特別養護老人ホーム	47			行政書士	4	薬局・ドラッグストア	5		
	介護老人保健施設	43			中小企業診断士	4	不動産	5		
	通所介護	37			介護コンサルタント	1	福祉機器用具製造・販売	2		
	有料老人ホーム(特定施設)	31			司法書士	1	医用電子機器製造・販売	1		
	訪問介護	24			法律事務所	1	医療機器メーカー	1		
	小規模多機能型居宅介護	14			その他	65	資格試験予備校	1		
	認知症グループホーム	10					寺院	1		
	通所リハビリ	6					人材派遣	1		
	訪問看護	4					人材紹介	1		
	福祉用具貸与	1					製造業	1		
	訪問リハビリ	1					その他・一般企業	25		
	その他	21								

資格保持者の声

■システム開発・営業

介護福祉経営士2級 40代 男性

高齢者介護システムの営業を担当するようになったことをきっかけに介護に関わるようになりました。ICTなどの専門家がほとんどいない介護業界でどうやって自社のシステムの良さをわかりやすく伝えればいいのか悩んでいた際に受けたセミナーで介護福祉経営士という資格を知りました。システムの導入目的は経営改善ですので、施設長や事務長などの経営陣と話す機会も多いため、資格で得た知識が役立っています。

■システム開発・営業

介護福祉経営士1級 30代 男性

介護等の情報サービスを提供する企業で企画を立案・運用する業務に関わっています。介護福祉経営士の取得をきっかけに、介護業界の経営者の方などに関わる機会が増えました。結果的に私自身の業界理解や、業務の質の向上にもつながったと感じています。

キャリアアップのために1級資格の取得を目指すケースも増加中

現在の介護福祉経営士1級の資格保持者は126名。その内訳は介護保険サービス55%、コンサルティング業25%、

金融9%、その他の業種が11%となっており、経営者層やミドルマネジャー層の立場にある資格保持者が比較的多い。

介護人材の不足や介護報酬の引き下げなど、介護を取り巻く環境が厳しさを増し、いかに健全な状態で事業を継続していくのが課題となるなか、より実践的なマネジメントのスキルを求めて1級資格を志すケースも増えている。

今後1級資格の保持者が増え、介護福祉の現場のマネジメントについて実践的に学んだ人材が業界の内外で活躍すれば、介護業界全体の活性化が期待できる。

また、2級資格で得た知識を元に現場での経験を集積し、1級資格で獲得できる課題抽出・分析能力、経営戦略立案能力を使いそれらの経験を体系的に整理することができれば、それは有用な知的資産となる。

そして、それらの知的資産を介護福祉経営士同士で共有することができれば、自組織だけでなく今後の介護業界全体のレベルアップにつながるはずである。

介護業界は「成長産業」とも言われる一方で、人手不足や倒産する事業者の増加など、必ずしも順調な状況にあるとは言えない。現状を冷静に見極め、戦略を立てられる介護福祉経営士こそが介護業界を「真の成長産業」へ導くキーパーソンとなるはずだ。

介護福祉経営士の皆さんには研究会などの機会を有効活用し、交流を深め、業界の垣根を超えたネットワークづくりに邁進していただきたい。



vol.3

入選作品掲載

第4回「介護福祉の未来」作文コンクール

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生が、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する場として、第4回「介護福祉の未来」作文コンクールを実施。全国から寄せられた448編から黒澤貞夫審査委員長（一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事）のもと厳正な審査が行われた。入選作品を紹介する。

優 秀 賞

「福祉を学んで感じたこと」

中瀬 愛さん

（兵庫県立日高高等学校 福祉科 3年）

私は高校に入学してから専門的な福祉の勉強を始めました。一年生の頃から多くの実習があり沢山の人の出会い沢山の事を学びました。一年生の頃は実習に行っても利用者の方と上手くコミュニケーションを取る事が出来ませんでした。しかし実習の回数を重ねると利用者の方から話しかけてくださるようになりました。2年生では特養、デイサービスの多くの実習がありました。最初は積極的に動く事が出来ませんでした。日にちを重ねると同時に利用者の方をよく知ろうと思い積極的にコミュニケーションを取り始めました。利用者の方の介助方法は利用者の方によって違うため利用者の方の事を知る必要があります。利用者の方の事を知る事によりその方の人柄やどのような言葉掛けをする必要があるのか分かり介助がやりやすくなりました。福祉の勉強をする前は良い介助とは介護者が全ての介助を行う事だと思っていました。しかし色々な事を勉強すると利用者の方にとっていい介護とは利用者の方の現存機能を生かした介助だと思っています。私が介助をさせていただく時は利用者の方の情報を聞き言葉掛けを多くしどんな介助が必要なのか利用者の方は何を希望されているのか考えながら介助を行いました。介助は技術だけではなく個性や安全面、尊厳の保持などが大切になってくると思います。このような事を意識し介助を行う事で利用者の方にとっていい介助を行う事が出来ると思います。実習では介助面以外にも沢山の学んだ事がありました。実習中にレクリエーションをした際反省点が多い時がありました。しかし利用者の方は笑顔で凄く楽しかったと言ってくださりととても嬉しい気持ちになりました。レクリエーションの際に私が意識したのは個性です。認知症の方や片麻痺の方など色々な利用者の方が

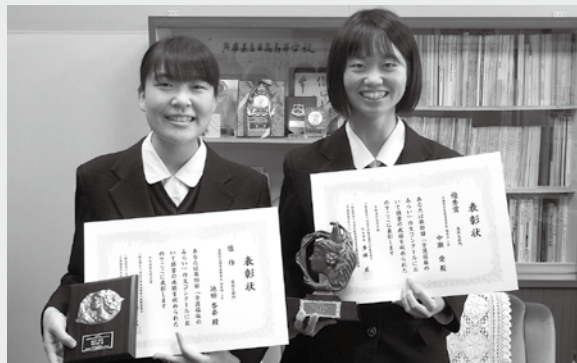
おられます。この利用者の方だから出来ないではなくどうしたらその利用者の方がレクリエーションを出来るのかを考える必要があると思います。レクリエーションに参加出来るようにするには説明の言葉を簡単で分かりやすいものに変えたりレクリエーションのルールや内容を分かりやすく理解しやすくする事で沢山の方に参加していただけるようになると思います。この個性はレクリエーション以外にも介助をする際にとても大切になってくると思います。

介護福祉士は利用者の方を最後まで見届けることが出来る職業です。人の人生の最期に関わらせていただける職業は多くないと思います。利用者の方の人生に関わらせていただけるかは介護福祉士にかかっていると思います。私は高校に入る前は福祉の知識が全くなく介護福祉士についてあまりよく知りませんでした。しかし沢山の勉強をし実習をさせていただく中で人の人生の最期に関わることが出来るこの仕事はとてつよく素敵な職業だと思うようになりました。将来あなたに介護してもらって良かったと言ってもらえるような介護福祉士になりたいです。そのために日頃の実習や今後介助の場面では利用者の方の立場にたち利用者の方は何を希望されているのかその希望を叶えるために自分達に何が出来る何をする必要があるのかよく考えたいです。利用者の方の笑顔と「ありがとう」という言葉に私は何度か助けられました。頑張つて良かったというふうに思いました。あなたに介護してもらって良かったと言って貰えるよう日頃の勉強はもちろん、実習を頑張りたいです。そして介助をさせていただく時は介護しているではなく介護をさせていただいているという感謝の気持ちを忘れずに取り組みたいです。

受賞者コメント

受賞したと聞き驚くとともに、大変光栄に思います。将来私は、障害を持った児童を含めた全ての子どもに対応できる介護福祉士の資格を持った保育士として働きたいと考えています。高校で学んだ福祉の心を活かし、将来の保育現場で活躍したいです。

（右）中瀬愛さん
（左は同じく入選した池田杏奈さん）



地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護が変わる 地域が変わる **介護ビジョン**

地域介護経営

今月の

200号記念
特別企画

【先達からのエール】 これからの介護を担う 未来のリーダー達へ

慢性的な人手不足など厳しい環境にある介護現場で、日々奮闘するリーダーたち。
介護保険制度の黎明期を経験し、今も介護現場の第一線で活躍する3人の先輩たちに、
介護業界の未来を担うことになるこれからのリーダーたちへのメッセージをいただいた。



柴田 範子氏
NPO法人楽理理事長



和田 行男氏
株式会社大起エンゼルヘルプ取締役



宮島 渡氏
社会福祉法人恵仁福祉協会
高齢者総合福祉施設
アザレアンさなだ理事長

2020年2月号
(2020年
1月20日発売)

介護が変わる 地域が変わる **介護ビジョン**
地域介護経営2

200号記念特別編集
介護現場のリーダー
200人の原点と挑戦

詳しくは **介護ビジョン** 検索

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円(税込)
- 定期購読料: 15,552円(税込)
- ※ 会員価格は12,444円(税込)

200号記念
特別編集

介護現場のリーダー 200人の原点と挑戦

人材不足の一方で、大きく変わりつつある介護業界。その未来を担うのは、介護現場の最前線で奮闘しているリーダー達だ。人生の大先輩である利用者と向き合いながら、利用者家族や地域住民、介護スタッフたちのために、リーダーは何を考え、どんな夢を描いているのか——『介護ビジョン』の創刊から200号を記念し、介護の未来をつくる30～40代を中心としたリーダー“200人”の介護観の原点と挑戦を紹介する。

【本特集で紹介されている介護福祉経営士】

- 坪 真毅氏(社会福祉法人樺山会 特別養護老人ホーム樺の木荘 副理事長兼施設長兼事務局長) 介護福祉経営士2級
井口 健一郎氏(社会福祉法人小田原福祉会 人材開発部長、特別養護老人ホーム潤正園 施設長) 介護福祉経営士2級
岩本 昌樹氏(社会福祉法人くだまつ平成会、Asian Agri Care株式会社、Japan Care and Medical co.,Ltd 理事長、代表取締役) 介護福祉経営士1級
荻野 亨氏(日の出医療福祉グループ法人本部 事業本部 本部長) 介護福祉経営士2級
神内 秀之介氏(ふくしのよろずや神内商店合同会社 代表) 介護福祉経営士1級
すがめま けん氏(チーム改革研究所 所長) 介護福祉経営士1級
萩森 直紀氏(社会福祉法人せんねん村 特別養護老人ホームせんねん村 相談部 課長) 介護福祉経営士1級
原澤 良氏(キョータ・ライフケアサービス株式会社 取締役 施設介護事業部長) 介護福祉経営士1級
皆川 敬氏(株式会社メディカル・エージェンシー・ジャパン 代表取締役) 介護福祉経営士1級
宮崎 香理氏(医療法人娯生会みやざきクリニック、介護老人保健施設みどうの杜 理事・医師、埼玉県医師会 地域包括ケアシステム推進委員) 介護福祉経営士2級
吉田 真一氏(株式会社でいぐにてい 代表取締役社長) 介護福祉経営士2級

新理事就任のお知らせ

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は令和元年9月18日開催の理事会にて青木正人氏、尾林和子氏を新理事に選任いたしました。前号掲載の青木氏のコメントに引き続き、尾林氏のコメントを紹介いたします。



お ば や し か ず こ
尾 林 和 子

東京都小金井市生まれ。2012年社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科修了(修士:福祉マネジメント学)。社会福祉法人東京聖新会理事、特養フローラ田無施設長、老健ハートフル田無副施設長、東京都認知症介護指導者として、地域ケアの現場を動かしながら内閣官房医療情報化に関するタスクフォース等に参加し、ロボットやICTを高齢者医療福祉領域に導入する研究に取り組んでいる。また全国社会福祉協議会キャリアパス福祉講師として東京都の福祉人材育成にも力を注いできた。2014年一般社団法人ユニバーサルアクセシビリティ評価機構理事長。2018年日本社会事業大学研究所研究員着任。2019年日本福祉大学福祉経営学部(通信課程)教授着任。日本老年医学会、日本認知症ケア学会、日本遠隔医療学会、日本老年精神医学会などの会員。

私が介護業界に入った時にまず驚いたのは、マネジメントや品質管理の概念に対する認識がとても希薄だったことです。製造業の分野ではQC (quality control=品質管理) やPDCAサイクル(plan-do-check-act cycle)の概念は1950年代には既に日本に根付き始めていたわけですから、介護業界は当時やっと50年前の段階にあるのだなと感じました。

現在では介護の質やマネジメントと言った概念が介護現場でも認知されるようになってきましたが、気を付けなければならないのは製造業とは違い、私たちが提供するサービスは物としての形がないということです。だからこそ業務の見える化をしっかりと心掛けていく必要があります。

私は介護に関わる誰もが納得した状態でサービスを提供する「環境づくり」が大切だと考えています。スタッフがケアの目的を十分に捉え、咀嚼し、サービスを提供するとサービスは向上します。そこに気づいたときにスタッフは達成

感を得ることができます。達成感スタッフのモチベーションをアップさせ、サービスの改善や職場環境の改善の原動力を生み出します。なによりもスタッフが「気づける環境」の構築は重要であり、そのためにも業務の「見える化」は必須となってくるのです。

これから日本は超少子超超高齢多死社会を迎えます。その中で生き残っていくためには事業をただ継続するだけではなく、確かなビジョンをもち、スタッフと共有していくことが大切です。

介護福祉経営士の皆さんには、自分のビジョンに対して、相手を納得させることのできる持論を持ちながら介護福祉経営に携わっていただきたいと考えています。

私は施設長として、常に現場のリサーチャーでありたいと考えてきました。そうした立場から得られた視点を活かしながら理事として貢献していきたいと思います。

日本介護福祉経営人材教育協会 関東支部

未来志向型介護経営研究会 開催のお知らせ

未来志向型介護経営研究会とは——介護福祉や医療など社会保障全般に関する最新情報の共有、重要テーマに関する研究を行うことで、介護経営の未来図（経営ビジョン）を描いていくことを目的として開催されています。

WEBでの申し込みは
こちらから



申し込みチラシ
同封中！

開催日	テーマ	講師
2/18 (火)	人材育成シリーズ① 【職員定着と離職防止】 介護業界の喫緊の課題である人材確保と育成。職員が働き続けたい事業所に必要な要素について学んでいきます。 こんな方に オススメ ✓ 手塩にかけて育てた人材が定着しない！ どこが悪いのか詳しく知りたい！ ✓ 現状の人材確保の手段では限界を感じている… 新しい視点が欲しい！	古戸 智恵氏 ●株式会社リクルートキャリア キャリアコンサルタント ●社会福祉士 社会福祉法人の人事・総務職を経験後、株式会社リクルートキャリア入社。株式会社リクルートキャリア内で行われている『HELPMAN JAPAN』プロジェクトに参画。「一人でも多くの人が福祉業界でイキイキと働くことができる」社会を目指さまざまな事業を展開中。
3/17 (火)	【介護事業所の事業計画作成】 介護業界の環境変化に対応しつつ、中長期的な法人のビジョンに沿った事業計画・経営計画の策定方法について、事例を交えながらポイントを学んでいきます。 こんな方に オススメ ✓ 今後の業界の変化に対応できる柔軟な体制づくりをしたい！ ✓ 他事業所の事業計画について知りたい！	小寺 俊弘氏 ●独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンターリサーチグループ 公益法人の本部で福祉事業部門の統括や中期経営計画・事業計画策定等に従事。2016年4月より独立行政法人福祉医療機構に参画し、福祉・医療分野の経営動向や政策動向の調査・分析に従事。

会場 ニッテン神田ビル3階 セミナールーム（東京都千代田区神田東松下町17）

時間 19:00～21:00 [第1部]基調講演 19:00～20:00 [第2部]グループワーク 20:00～21:00

受講料 2,000円：介護福祉経営士（当協会会員）、4,000円：『介護ビジョン』定期購読者、提携団体会員、6,000円：一般

多岐にわたる試験範囲を1日の集中講義でわかりやすく解説!!

「介護福祉経営士2級」資格認定試験 対策ポイント整理講座

日時 2/22 (土) 【講座/問題演習・解説】

会場 ニッテン神田ビル3階 セミナールーム（東京都千代田区神田東松下町17）

定員 40名（先着順） ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
また、お申込の状況により会場の変更や開催を中止する場合があります。

持参物 「介護福祉経営士テキスト 基礎編（全10巻）」（（株）日本医療企画刊／1セット24,100円（税込））をテキストに使用します。
各自お買い求めいただきご持参ください。

WEBでの申し込みは
こちらから



申し込みチラシ
同封中！

講師 馬場 博氏

（一般社団法人C.C.Net専務理事・
チーフアドバイザー）

受講料 各日：15,000円（税込）

セミナー・研究会
お問い合わせ先

日本介護福祉経営人材教育協会
関東支部（日本医療企画 関東支社内 担当：堀口・小林）
TEL:03-3256-2885



研究会の詳細やその他
セミナーなどの情報は協
会HPをご覧ください